

中部圏広域地方計画に対する意見募集の結果について

戦略目標等		意見の要旨	意見に対する考え方
<p>交流・連携 暮らし</p>	<p>1</p>	<p>観光客増加に向けて、中部の工業の様々な面を体験を通して見せることにより、修学旅行を誘致する等、中部を身近なものにしてもらうことが大事である。 また、都市圏間交流の強化について、栄は瀬戸市にしか接続しておらず人口減の中で斜陽は避けられない。栄が豊田の玄関口となれば、それは栄の持ち得なかった新たな顔となる。そこで、次の10年には豊田 名古屋間、とりわけ豊田 栄間の公共交通機関の改善が必要であると私は考える。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、第4章第2節(6)まんなか巡り観光交流プロジェクトの記載を次のとおり訂正しました。 「観光地における外国語版ホームページや旅行・観光パンフレット等の充実、修学旅行の誘致、道の駅等を情報発信の拠点として活用する「信州の道ホットインフォメーション大作戦！」等、誘客促進プロモーションを展開するとともに、…」。</p> <p>なお、都市圏間交流の強化については、第3章第3節(4)暮らし～快適で利便性の高い移動環境の構築～において、「安心して移動できる利便性の高い交通体系を構築するため、…移動環境の整備を進めるとともに、生活交通を確保するための鉄道、バス等の公共交通体系の再構築を総合的に進める。」と記載しています。</p>
<p>交流・連携 安全・安心</p>	<p>2</p>	<p>豊川には、ダム建設よりもこの川にしかできない役割があるはず。叶うならば平和の利用として計画を見直して欲しいと切に願っているのです。 年2回各々ポップス、クラシックの音楽の日中(あるいは広域的にはアジア)友好音楽祭の誘致できる音楽会場の備わった森の計画(「よのの森」(仮称))として、ダム建設案の見直しを提案します。</p>	<p>誰もが安心して快適な日常生活を送ることができる地域社会を実現するため、豊川水系におけるダムの整備等による安全・安心な水の安定供給等の取組を推進することが必要であると考えています。</p> <p>文化施設の拠点整備については、第4章第2節(11)文化継承・創造プロジェクトにおいて、「文化芸術の発信の場となる拠点施設の整備や利活用の推進を図り、文化・芸術の持つ創造性を活かした都市づくりを展開する。」と記載しています。</p>
<p>北陸圏との連携 (交流・連携 活力)</p>	<p>3</p>	<p>中部圏と北陸圏の港湾は、個々の目的・戦略により、自港の貨物増加を図るためにポートセールスを積極的に展開しているため、「両圏域が連携して…」という表現ではなく、「中部圏と北陸圏において…」という表現がふさわしいと考えます。</p>	<p>世界市場における競争力の強化を図るためには、両圏域が連携して東アジアマーケットへの交易拡大に向けた取組を推進することが必要であるとと考えています。</p>